

概要

Ver7.02EQ201T5 では、不具合修正 1 件に対応しています。

(新規項目 RIP 出力： 0 件)

(修正項目 RIP 出力： 1 件)

新規項目

修正項目

【RIP】

1 Ripforrecorder チケットにて一時停止を解除するとレコーダー出力がエラー終了する。

[入力処理] → [RipforRecorder(PPF 出力、シート単位)*一時停止 → レコーダー出力]
という内容のジョブを作成し、RipforRecorder 及び PPF 出力完了後、一時停止を解除するとレコーダー出力がエラー終了する不具合を修正しました。

[035219EQ]

修正トラブルレポート

【RIP】

EQ-19-0352 Ripforrecorder チケットにて一時停止解除するとレコーダー出力がエラー終了する

留意点(T1 から継続記載。解除は取り消し線)

【RIP】

いずれも T1 の留意点で、すべて修正済みです。

~~T1 RIP バージョン 5 (バックアップバージョン) 使用時、「リファインドットを適用する」を ON にした場合~~

~~この場合、警告やエラーメッセージを表示することなく、リファインドットが適用されていない(通常の) DotTIFF を出力してしまいます。~~

~~T2 では、出力せずにエラーとなるよう対応します。~~

2—RIPバージョン5 (バックアップバージョン) 使用時、新フォーマットのドットゲインファイル (.dgt) を使用した場合

設定によっては、RIPバージョン5で新フォーマットのドットゲインファイルを読み込めず、意図していない出力結果となってしまいます (エラーとなる場合もあります)。

T2では、RIPバージョン5で新フォーマットのドットゲインファイルを読み込んだ時は、エラーとなるよう対応します。

3—「リファインドットを適用する」をONにした場合のパフォーマンス

処理時間については、T2で改善するよう対応します。なお、同じ入稿データであっても、適用するリファインドットのパターンによって、処理に要する時間が変わってきます。

メンテナンス関連

評価チーム向け情報 (T1 から継続して記載する。削除は取り消し線で表記)

【RIP】

1 機能名称について

リファインドットは仮称です。正式名称が決まり次第、そちらに変更します。また、ライセンスキー『PTR-OUT-MICRO_CELL-LIC』のMICRO_CELLについても同様に変更します。正式名称「Super Fine Cell」(略称 SFCe) となりました。

これを受けて、ライセンスキーは『PTR-OUT-SUPER_FINE_CELL-LIC』と変更、T3までの『PTR-OUT-MICRO_CELL-LIC』は廃止となっています。

2 リファインドットファイル (.rd ファイル) Super Fine Cell ファイル (.sfce ファイル) について

2.1 ファイル保存場所

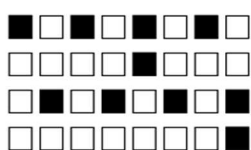
次の場所に保存しています。解像度ごとに分けています。

- EquiosCenter\proc\Data\preference\refinedotpattern\<(解像度)
- EquiosCenter\proc\Data\preference\SuperFineCell\<(解像度)

2.2 ファイル記述内容

次の囲みのように記述されています。なお、ファイル名を変更すると使用できなくなりますのでご注意ください。

8x4のパターン



```

<?xml version="1.0" encoding="utf-8"?>
<root>
  <info>
    <width>8</width> <!-- セルの横ピクセル数 -->
    <height>4</height> <!-- セルの縦ピクセル数 -->
    <date>201909121838</date> <!-- ファイル作成日時 -->
    <hv>8495952081089157129</hv> <!-- ハッシュ値 -->
    <bundle>>false</bundle> <!-- EQUIOSにバンドルされているものならtrue / オプションとして追加されたものなら false -->
    <lic>05d2a11437e3fb7208</lic> <!-- 暗号化されたライセンス文字列 -->
  </info>
  <cells>
    <line>10101010</line> <!-- 1行目; ■は1, □は0 -->
    <line>00001000</line> <!-- 2行目; // -->
    <line>01010101</line> <!-- 3行目; // -->
    <line>00000001</line> <!-- 4行目; // -->
  </cells>
</root>
  
```

※赤字部は説明用のコメント。実際には記述不要。

2.3 同梱パターンファイルの変更 (T3→T4 での変更)

T3で同梱した .rd ファイル と T4で同梱した .sfce ファイルについて、同じパターンとなっているのは、次の表の通りです。

この表は、例えば『SFCe_2400-07.sfce』と『p05_2400.rd』のパターンは同じ、ということの意味しています。(パターンは同一ですが、ファイルの中身は異なります。)

解像度：2400		解像度：4800	
T4 (.sfce)	T3 (.rd)	T4 (.sfce)	T3 (.rd)
SFCe_2400-01	p01_2400	SFCe_4800-01	p01_4800
SFCe_2400-02	p02_2400	SFCe_4800-02	p02_4800
SFCe_2400-03	p03_2400	SFCe_4800-03	p03_4800
SFCe_2400-04	p07_2400	SFCe_4800-04	p07_4800
SFCe_2400-05	p11_2400	SFCe_4800-05	p11_4800
SFCe_2400-06	p12_2400	SFCe_4800-06	p12_4800
SFCe_2400-07	p05_2400	SFCe_4800-07	p05_4800
SFCe_2400-08	p06_2400	SFCe_4800-08	p06_4800
SFCe_2400-SP90	pX03_2400	SFCe_4800-SP90	同一パターンなし
SFCe_2400-SP95	pX04_2400	SFCe_4800-SP95	同一パターンなし

なお、SRCe_4800-SP90 及び 95 の 2 パターンについては、T3 では未搭載、T4 で初めて搭載したものです。

3—処理速度について

~~リファインドットの横ピクセル数が「2 のべき乗または 128 の倍数」のときと、それ以外のときとで、処理時間が異なります。セルのパターンにもよりますが、(前者の処理時間) : (後者の処理時間) = 2 : 3 くらいです。~~

~~また、前者は、先日の設計検証報告時のモジュールと比較して、RIP 処理時間が 1/2 程度になっています。~~

以上